

# デジタルトピック (Vol.9)

このコーナーでは、地域のデジタルに関する取り組みを紹介します。

地域デジタルクラブに関心のある方は、ぜひお気軽にご相談ください。 ■問/デジタル推進課 ☎572-3943

## クラブ概要

設立/令和6年7月  
 会員数/14人(60~80代)  
 【男性7人 女性7人】  
 ※うち3人は市のシニアICTサポーターとして活躍中。  
 活動日/毎月1回(不定期)  
 活動場所/蓬萊学習センター



▲ 活動方針についての打ち合わせ

## 佐藤会長に聞きました!

縁あってクラブの立ち上げに携わりましたが、クラブ会員のスキルアップだけではなく、少しでも地域の多くの方々に知識の拡散ができればと思っています。  
 当クラブの会員の多くは仕事をしているため、全員集まることさえ難しいのですが、焦らず急がず、息の長い活動をしていきたいです。



▲ シニアICTサポーターの川村さんと市シルバー人材センターICT班の佐藤さん

蓬萊地区に、市内で6つ目となるデジタルクラブ「蓬萊デジタルサロン」が誕生し、9月から活動をスタートします。  
 シニアICTサポーターの川村さんと、市シルバー人材センターICT班で活動する佐藤さんの2人が発起人となり、蓬萊地区在住の市シルバー人材センター会員や学習センター主催のスマホ講座参加者へ声掛けを行い、クラブ立ち上げに必要なメンバーを集めました。  
 活動は、市シルバー人材センターICT班が作成した「高齢者向けスマホハンドブック」をテキストにしたセミナーや、無料講師派遣が可能な携帯ショッップのスマホ講座を活用していきます。スマホの使い方や学びたい地域の方々が自由に参加できるようなサロンを目指します。

## 蓬萊地区に新たな地域デジタルクラブが誕生!

We Love ♡  
ふくしま!

## 第73回 「マイキエーロ」

シャベルで黒土を掘り返す。「消える、消える」と、生ごみが消えているのを確認。掘った穴に、また水分を含んだ生ごみを入れ、黒土と混ぜ、黒土をかぶせる。

「うまく分解されますように」わが家でもキエーロを始めた。キエーロは、土の中にいるバクテリアと太陽光を利用して生ごみを分解する仕組み。黒土に埋めるだけで、本当に生ごみが分解されるのか半信半疑でした。面倒では?臭いは?虫がわくのでは?と不安いっぱい。

でも始めてみると、至って簡単。家の中でも大丈夫。生ごみを数日間ため、細かくして埋める。1~2週間後にはなくなっているのが妙に楽しい。生ごみでも分解されやすいものと、されにくいものがあり、続けているうちに細かくするなどのコツがわかってきます。油もの好きなのは面白い。

生ごみが減ったので、収集日にごみを出す量も回数も減りました。ごみの分別もよりきめ細かに行うようになりました。

今、県内でごみ減量への関心が高まっています。福島県は一人当たりのごみ排出量が全国でワースト1位。ごみ緊急事態宣言を出した県内自治体もあります。福島市も数年前は、全国ワースト1位の都市でした。市民の皆様の協力もあって、平成

27年から18%削減できましたが、まだまだ改善が必要です。市では、キエーロや分別回収などの取組をさらに強化していきます。キエーロは直接的な減量効果だけでなく、ごみ減量への意識を高めてくれる効果があります。子どもたちには、学習や研究のいい機会になります。

キエーロの用具購入は、市の補助対象になります(補助率概ね1/2)。何を留意したらいいかわからない、との声にお応えして、ダイユーエイト(福島黒岩店)さんがキエーロ基本セットを用意してくれました。各家庭でもぜひ、キエーロに取り組んでみてください。

キエーロを楽しむ工夫は、マイキエーロをつくること。わが家では、ももりんのクリアファイルを活用して、写真のようなマイキエーロをつくりました。自分ならではのマイキエーロをつくり、インスタグラムに「#キエーロふくしま」と投稿し、楽しんでみてはいかがでしょうかでしょう。



福島市長 木幡 浩



「キエーロ」はキエーロ葉山の登録商標です。